

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。  
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二二（令和三）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 A日程〉

国語

二〇二二（令和三）年二月二日（火）

九時～九時五〇分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の【文章Ⅰ】は、駅での座りこみや電車内での化粧など、公共空間での若者の行動について述べた文章です。また、【文章Ⅱ】は、人が他者に見られる自分のイメージを自己コントロールする「印象管理」について述べた文章です。これらを読んで後の問いに答えなさい。  
(一部本文を改めたところがあります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(I・IIともに、菅原健介編著『ひとの目に映る自己』より)

問一 ――部「なぜ、彼らは公共の空間で奇妙な行動ができるのだろうか」について、その理由の説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 若者にとって、地域社会とは物心ついたときにはすでに消滅していた場であり、公共空間に居合わせる人々とは生活上の利害関係を感ずる必要がないから。

イ 若者にとって、地域社会の人間関係は次第に重要でなくなり、公共空間に居合わせる人々は、たまたまそこにいるだけの気づかいの必要のない相手だから。

ウ 日本からセケンの機能が失われたことにより、若者はタニンに甘えて過ごすことができなくなり、自分の考えを行動でアピールする必要があるから。

エ 日本ではミウチの親密な間柄が次第に希薄になり、その中で幼少期を過ごした若者は、自分の行動が周囲に及ぼす影響を学ぶことができなくなったから。

問二 ――部(1)「ミウチとタニンの間の中間的な位置にある関係がセケンである」について、「中間的な位置」とは「セケン」のどのような特徴を指しますか。次の A、B に当てはまる語句を、指定された字数で本文中から抜き出して答えなさい。

ミウチと同様に

A (十三字)

が、ミウチと違って

B (七字)

が許されない特徴。

問三 ――部(2)「対人関係や社会のもつ重要性」に当てはまらないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 生存を保ったり遺伝子を継承したりすること。

イ 生活上の知識を次世代に伝えていくこと。

ウ ささまざまな方法で友情や愛情を深めること。

エ 進化によってサルよりも優れた脳を得たこと。

オ 社会に蓄積された過去の遺産を利用すること。

問四 ———部(3)「個人というレベルに注目したとき、決定的に重要なのは『社会』からその個人がどれだけ高い評価を得ているかという点である」について、以下のようにまとめました。  に当てはまる語句を、本文の記述を参考にして書きなさい。

社会から高い評価を得ることによって、  から。

問五 【文章Ⅱ】の内容をふまえると、駅での座りこみや電車内での化粧など、【文章Ⅰ】が指摘する若者の奇妙な行動はどのように評価されますか。与えられた枠内で記述しなさい。

問六 これらの文章を読んで、六人の生徒が話し合いを行いました。本文の内容に合わないものを、次の中から三つ選び、ア～カの記号で答えなさい。

ア 生徒A ———【文章Ⅱ】にある印象管理は、公の場できちんとした身なりをすることにも当てはまるね。他者からの期待や信頼を得られるという、自分へのメリットがあることだったんだね。

イ 生徒B ———ぼくは自分の得になるからという理由で自分の外見を作るのは、打算的な態度だと思うな。ありのままの自分の姿が評価される社会が理想的だと思うよ。

ウ 生徒C ———人々の価値観や考え方が時代とともに変化することは【文章Ⅰ】からも読み取れます。いずれ「見た目」に意味を見出すことは時代遅れになるんじゃないかな。

エ 生徒D ———私は先日パンを食べながら歩いている人を見たけれど、ちょっといやな感じを受けました。でも、それを気にしない人もいるということは、社会の変化とも関係のあることだと、文章を読んで気づきました。

オ 生徒E ———私たちが生きているのは、多くの見知らぬ人に開かれた空間であることに気づきました。【文章Ⅱ】にあるように、この社会から資源を得るためには、自分をいつわることも必要なんだね。

カ 生徒F ———【文章Ⅰ】のように、駅前では知らない人ばかりだから、自分がどう見えるか気にしなかったけれど、【文章Ⅱ】のように「社会」という観点で見ると、自分もその一員であることに気付くね。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(一部本文を改めたところがあります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます



著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(寺地はるな『水を縫う』より)

問一 ~~~~~部A「心もとない」、B「いてもたってもいられなく」の意味としてふさわしいものを、次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| A 「心もとない」 |              |
| ア         | 感謝してもしきれない   |
| イ         | 待ち遠しくて落ち着かない |
| ウ         | 自分とうまく心が通わない |
| エ         | 気持ちを慰めるものがない |
| オ         | 頼りなくて安心できない  |
- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| B 「いてもたってもいられなく」 |                 |
| ア                | どうしても辛抱しきれなく    |
| イ                | その場にじっとしていられなく  |
| ウ                | 何をしたらよいか見当がつかなく |
| エ                | 不安で落ち着いていられなく   |
| オ                | 迷い始めて決断ができなく    |

問二 ———部(1)「もう、相槌すら打てなくなってきた」について、「僕」がこれ以前までは相槌を打とうとしていた理由を、二十五字以上三十字以内で答えなさい。なお、句読点や記号も一字とし、以下の問いでも同様の扱いとします。

問三 ||||部「高杉くるみ」について、彼女の人柄を説明したものとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他人思いで、協力したいと思っただけでも辛抱強く関わりを続けようとする性格。
- イ 自分が興味のある分野にはこだわるが、それ以外のことには何も関心が持てない性格。
- ウ 世話好きで、周囲の人たちがよい関係を保つためには自分が苦勞することもいとわれない性格。
- エ 他人への気配りができる一方で、興味があることには確固としたこだわりをみせる性格。
- オ 何事においても皆と協調することが第一と考え、そうできない人を放っておけない性格。

問四 —— 部(2)「学校以上に『個性を尊重すること、伸ばすこと』に向いていない場所は、たぶんない」について、「僕」がこのように考える理由としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 学校では、人と人との違いを尊重しようと言われる一方で、集団生活の中でのルールを強制されるから。
- イ 学校では、個性を大切にと声高に叫ばれるが、個性の伸ばし方がわからず誰も個性を伸ばそうとしないから。
- ウ 学校では、周囲の生徒と異なる点があることさらに取り上げられ、攻撃やからかいの対象になってしまうから。
- エ 学校では、それぞれ異なる存在であると強調され、皆が必要以上に自分の個性をアピールしようとしているから。
- オ 学校では、自分と同じ価値観を持つ集団の中で生活することが多く、それ以外のものとは接触ができないから。

問五 —— 部(3)「ポケットにスマートフォンをつっこんだ」について、「僕」は宮多たちに対するどのような考えからこのような行動をとったのですか。三十字以上四十字以内で説明しなさい。

問六 —— 部(4)「靴紐をきつく締め直して、歩く速度をはやめる」について、この表現から「僕」のどのような状態が読み取れますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の趣味に興味を示されたことで気持ちが落ち着き、もっと丁寧に自分の好みを説明し理解してもらおうと意気込んでいる。
- イ 謝罪を受けたことから周囲の無理解を許す気持ちになり、これからはよい関係になれるよう努力していこうと考えている。
- ウ 自分の一方的な誤解から失礼な言動を取ってしまったことを反省し、これからは同級生たちの好みに合わせようと決意している。
- エ 同級生たちとの間に感じていた隔たりについて考え直し、互いを理解しあえる関係を築くことに前向きになろうとしている。
- オ 違いがあることは悪いことではないと気が付き、これからは程よく距離を置いて関わらないようにしようと思心している。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(二部本文を改めたところがあります。)

※では  
 (1) 出羽の国よりみちのくのかたへ通りけるに、山中にて日くれければ、からうじて九十九袋といへる里にたどりつきて、宿りもとめぬ。  
 夜すがらごとごとものひびく音しければ、あやしくて立ち出で見るに、古寺の広庭に、<sup>(3)</sup>老いたるをこの麦をつくにありけり。予も  
 そこら徘徊しけるに、月孤峯の影を倒し、風千竿の竹を吹きて、朗夜けしきいふばかりなし。このをのこ、昼の暑さをいとひて、かくいとな  
 むなめりと。やがて立ちよりて、名は何といふぞと問へば、宇兵衛と答ふ。  
 X 涼しさに麦を月夜の卯兵衛かな

(与謝蕪村の文章より)

※出羽の国……羽前・羽後二国の総称。現在の山形・秋田両県にあたる。

※孤峯……周囲に高い山がなく、ただ一つそびえる峯。

※宿りもとめぬ……宿泊をさせてもらった。

※千竿……竹林。

※予……「私」の意。

※朗夜……晴れわたり、空気の澄んだ気持ちのよい夜。

問一 部「からうじて」を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

問二 部(1)「夜すがら」、(2)「あやしくて」の意味をそれぞれ答えなさい。

問三 部(3)「老いたるをこの麦をつくにありけり」について、「老いたるをのこ(宇兵衛)」はなぜ、この時間帯に麦をついてたのですか。その理由としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 夜は風情があって、雰囲気が好ましいから。

イ 夜は昼より涼しく、仕事しやすいから。

ウ 夜は月の光のために、視界が良いから。

エ 夜は人通りが少なく、集中できるから。

問四 俳句Xにおける(i)「麦を月夜の」、(ii)「卯兵衛かな」の表現について説明したものととして、ふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(i) 「麦を月夜の」

- ア 「つく」の部分には、「尽きる」の意味が掛けられている。  
イ 「つく」の部分には、「到着する」の意味が掛けられている。  
ウ 「つく」の部分には、「脱穀する」の意味が掛けられている。  
エ 「つく」の部分には、「くつつく」の意味が掛けられている。

(ii) 「卯兵衛かな」

- ア 「宇兵衛」の名前が「卯兵衛」になっているのは、初対面で名前がわからなかったからである。  
イ 「宇兵衛」の名前が「卯兵衛」になっているのは、宇兵衛の干支えとが「卯年」であることからである。  
ウ 「宇兵衛」の名前が「卯兵衛」になっているのは、「月」と「うさぎ」の取り合わせを意識している。  
エ 「宇兵衛」の名前が「卯兵衛」になっているのは、当時の名前の漢字表記が流動的だったからである。

四

次の①～⑤の——部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 相手の手を強くニギる。 ⑥ 理不尽な要求を拒む。  
② 飲料水でのどがウルオウ。 ⑦ 時には我慢も必要だ。  
③ スイハン器の電源を入れる。 ⑧ 次の勤務地に赴く。  
④ サビしい農村の風景。 ⑨ 新鮮な果物を買う。  
⑤ 企業とケイヤクを結ぶ。 ⑩ 事前に注意を喚起する。